

ごみ分別での町民負担の少ない町に

衛生自治会と協議する



児玉 孝徳 議員

リサイクルの効果はどのくらいあるか

児玉議員

リサイクルで、経費やCO₂など環境についての効果はどのくらいか。

ごみ処理経費は全国平均の約半分である

町長

リサイクルによるCO₂の削減効果については、増加理論もあるが、資源循環の取組は地球に優しいと考える。

啓発や注意喚起、指導を行っている

町長

広報紙による啓発、防災無線放送による注意喚起の他、通報があれば至急現地へ出向き指導を行っている。野焼きによる延焼で消防の出勤も多いので、地域での見守り活動などが必要と考える。



住民による資源ごみの分別

資源ごみ回収日と別に持込回収場の設置を

児玉議員

ごみの出し忘れや、年末などは置き場もない家庭もあるが、資源ごみ回収日とは別に、月2回ほど特定の場所に持ち込む事で回収できないか。

衛生自治会と協議する

町長

広報紙に収集日を掲載している。ごみ分別アプリの通知機能の活用や、集落放送の利用で、出し忘れの対策につながると思う。回収の機会を増やすことについては、衛生自治会の意見を聞き、協議する。

移住者に分別のわからない物を入れる袋を

児玉議員

「大崎町はごみの分別が大変だから住みたくない」と、移住をためらう方がいるが、移住、定住促進のために、



ごみ拾いをする小学生

一定期間、「分別のわからない物を入れる袋」を無料配布することはできないか。

十分説明しているが、衛生自治会と協議する

町長

移住者には、時間をかけ詳細に説明している。「分別のわからない物を入れる袋」は、今までの取組に逆行するので、衛生自治会と協議し、慎重に判断する。

分別のわからない物を入れる袋の販売を

児玉議員

菱田の小学生はごみを拾うことで、表彰さ

衛生自治会と協議し慎重に判断する

町長

同様に衛生自治会と協議し、慎重に判断する。